

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公開番号】特開2006-134318(P2006-134318A)

【公開日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2006-020

【出願番号】特願2005-305195(P2005-305195)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/48 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/46 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月26日(2011.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コントローラ(12)を操作する方法であって、前記方法は、クロックチック間で、1つまたは複数の時間指定イベントを開始するセンサー(42)、スイッチ(56)、実行中のプログラム、あるいはその組み合わせからの1つまたは複数の信号を受信する工程を備えており、

前記1つまたは複数の信号を受信する工程の直後のクロックチックまたはその後に、前記受信した信号(1つまたは複数)に従ってイベント制御ブロック(ECB)内のエントリを更新し、前記エントリには各イベントの優先順位が含まれる工程と、

前記開始した最も優先順位の高いイベントについて通知する信号を実行中のプログラムに送信する工程とをさらに備え、

前記コントローラ(12)が複数のタイマーを備えており、それによって前記タイマーの数より多い複数のイベントを制御し、

前記イベントには、実行される順番をアクティブに待っているアクティブイベント(308)および実行できるまで特定の時間を必要とする保留イベント(306)が含まれ、

前記エントリには保留イベント(306)の残り時間およびアクティブイベント(308)の期限経過時間がさらに含まれることを特徴とし、前記方法は、

前記保留イベント(1つまたは複数)(306)がタイムアウトしたかどうかを判断し、前記タイムアウトしたイベントの状態を保留(306)からアクティブ(308)に変更する工程と、

期限を過ぎたアクティブなイベント(308)が前記実行中のプログラムにまだ信号を送信していない場合に、前記優先順位を上げる工程をさらに備える方法。

【請求項 2】

前記信号を送信する工程はセマフォを送信する工程を備える請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記信号を送信する工程はタイミングタイプを示す信号を送信する工程をさらに備える請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記タイミングタイプは、信号を受信する時間の長さを示す遅延タイミング、受信する時間の長さに関わらず特定の時間を示すパルスタイミング、および前記受信した信号がアク

ティブでなくなってからあらかじめ指定した時間維持される信号を示す維持タイミングで構成するグループから選択される請求項 3 記載の方法。

【請求項 5】

前記制御ブロック内の前記エントリには、前記イベントが非アクティブ（302）、待機（304）、保留（306）、アクティブ（308）、実行中（310）のいずれであるかの指示が含まれる請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

クロックチックに基づいて前記オペレーティングシステム内のシャドウセマフォを更新する工程と、前記シャドウセマフォを使用して期限を過ぎたイベントの優先順位を変更する工程とをさらに備える請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

プロセッサ（12）に対して、請求項 1 記載の工程の実行を指示するように構成された命令を含むノンプリエンティブなオペレーティングシステムが記録された機械可読媒体またはメモリ（26）。

【請求項 8】

前記命令は期限を過ぎたアクティブなイベント（308）が前記実行中のプログラムにまだ信号を送信していない場合に、優先順位を上げる命令をさらに含む請求項 7 記載の媒体またはメモリ。

【請求項 9】

複数のタイマーを備えるプロセッサ（12）と前記プロセッサに対する命令を格納するメモリ（26）とを備えるコントローラであって、請求項 1 記載の工程を実行するように構成されたコントローラ。

【請求項 10】

前記制御ブロック内には、前記イベントが非アクティブ（302）、待機（304）、保留（306）、アクティブ（308）、実行中（310）のいずれであるかの指定を格納するように構成された請求項 9 記載のコントローラ。